

2014 年度 第 26 回特別企画セミナー（東京）を開催

2015 年 2 月 24 日（火）、第 26 回特別企画セミナーを東京国際フォーラムで開催致しました。このセミナーでは昨年 12 月に日本渡航医学会によって発表された「海外派遣企業での新型インフルエンザ対策ガイドライン・2014 年版」の紹介と活用をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われました。2009 年に旧海外勤務健康管理センターが作成した同ガイドラインを運営管理している日本渡航医学会が 5 年ぶりに改訂したもので、当基金が作成事務局を務めました。このガイドラインを各企業において海外で勤務する従業員への新型インフルエンザ対策として活用していただけるよう今回セミナーが企画されました。

【来場者】

総数 38 名が参加。

内訳は、医師 12 名、看護師・保健師 7 名、企業人事総務・リスク安全管理担当などの方々 19 名。

【講演】

「新型インフルエンザ ガイドラインについて」

東京医科大学病院 渡航者医療センター教授 濱田篤郎 先生

「パンデミック対応とBCP」

株式会社 インターリスク総研 災害リスクマネジメント部 安全文化グループ 上席コンサルタント

小山和博氏

【パネルディスカッション】

上記の講師二人に下記の方々に加わっていただきパネルディスカッションを行いました。

- ・鈴木英孝先生 日本渡航医学会ガイドライン作成委員
- ・真行寺 誠氏 日本航空株式会社 人財本部健康管理部 部長
- ・村田英美氏 一般財団法人 海外邦人医療基金 専務理事



参加者に質問用紙へご記入いただき、その内容に沿って可能な限りお答えするというもので、今回初めて取り組んだ方法です。

すべてのご質問にはお答えできる時間がなかったことと、予想を上回る申し込みがあったため、直前に会場のレイアウトを変更し手狭な座席配置となりましたことは反省点として今後のセミナー開催に活かしたいと

存じます。

今後の開催テーマにも御要望をいただきましたので、併せて参考にしていきます。

「インフルエンザ対策ガイドライン」シリーズは引続き 4 月に名古屋で開催いたします。

こちらもどうぞよろしくお願いいたします

名古屋セミナー開催の概要

<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/pdf/20150305nagoya.pdf>